

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【公開番号】特開2016-105994(P2016-105994A)

【公開日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2016-59572(P2016-59572)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられ、

前記通過口の一部が前記金属板材における前記隙間と連通している

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明は、

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ

つ発射可能な発射手段と、
を具備する遊技機であって、
前記球送り手段は、

金属材料における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属材料における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属材料には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられ、

前記通過口の一部が前記金属材料における前記隙間と連通している

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明では、前記遊技領域に設けられる受入口と、前記受入口への遊技球の受け入れに基づいて、特定条件の成立にかかる当落判定を行う抽選手段と、前記当落判定の結果として前記特定条件が成立したことに基づいて、所定態様で大当たり遊技が実行される当たりが少なくとも属する第 1 形態と、前記所定態様とは異なる態様で大当たり遊技が実行される当たりが少なくとも属する第 2 形態とを、少なくとも付与可能な状態とする複形態付与制御手段と、前記第 1 形態と前記第 2 形態とが少なくとも付与可能な状態とされたときに、該第 1 形態又は該第 2 形態の選択が可能とされる処理を行う選択処理手段と、大当たり遊技の実行態様を、前記選択処理手段にて選択された形態に属する当たりに対応する実行態様に決定する実行態様決定手段と、前記決定手段により決定された実行態様での大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段と、を備え、前記第 2 形態には、前記所定態様とは異なる態様で大当たり遊技が実行される当たりとして、遊技者にとっての利益度合が互いに異なる小利益当たり及び大利益当たりが少なくとも属しており、前記選択処理手段は、前記遊技領域に打ち込まれた遊技媒体が振り分けられる複数の振り分け先を有するとともに、該複数の振り分け先のうち前記第 2 形態が選択される特定の振り分け先に振り分けられたときには、該特定の振り分け先に振り分けられた旨を検出する検出手段を有し、前記実行態様決定手段は、前記検出手段による遊技該媒体の検出により前記第 2 形態が選択されたときには、該第 2 形態に属する遊技者にとっての利益度合が異なる当たりのうち、抽選によりいずれかの当たりに決定する当たり決定手段を有し、さらに、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技媒体が前記特定の振り分け先に振り分けられたときに、ただちに、前記第 2 形態に属する当たりのうちいずれかの当たりに決定されてしまうことが回避されるように、前記特定の振り分け先に振り分けられた遊技媒体についての前記検出手段による検出を、都度異なる不規則なタイミングで遅延させる不規則遅延手段を備えることを要旨とする。